

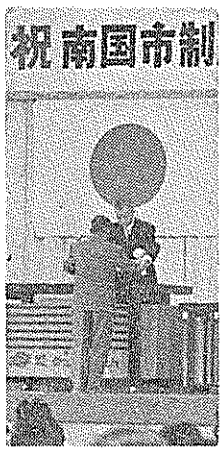
話題・トビックス

▽歴代市長△ 西村盛之、池川滋寿  
 △歴代議長△ 野口幸重、井上満吉、沢村武一、中田清茂、故小川良水  
 △農業委員△ 田村英史、田島正史、神田晴重、近藤武重、松下仁、松岡幸寿、池知三男、窪田幸雄  
 △選挙管理委員△ 武市亮一、岡沢嘉一、浜田広幸  
 △一般行政△ 武内卓見、藤本茂樹、原四郎、元吉一郎、竹村洪郎、浜田澄  
 △納税組合△ 森本一枝、松村治、浜田実、奏泉寺敏弘、竹崎久美子  
 △交通安全△ 小松義幸、高島

感謝状 授賞者

清雄  
 △産業△ 農業△土磨秀寿、高田利彦、田内盛喜、山本美寿儀、徳永安雄、川村等 畜産△ 山本通夫、商工△松木基治  
 鈴江三妻、楠瀬景三  
 △建設△ 土木△川村利幸、田勇亀、門田亀喜、森下茂好、岡沢順行、故森本達千代、水道△横田達喜、竹崎鶴子  
 △社会福祉△ 八井田茂実、岡

林多美子、沢木葉子、溝淵功、岡林満男  
 △教育△ 西村信久、山中浩気、溝淵栄治、浜田祐夫  
 △社会教育△ 山本義利、土磨直基、小川泉、三宮達郎、浜田一雄、利岡完、川田茂宏、島井幸治、岡崎邦雄、中村峻一、久米静彦  
 △消防△ 山岡八郎、立田辰巳、田所良知、福川藤茂、秋山市



祝南国市制  
 直基、小川泉、三宮達郎、浜田一雄、利岡完、川田茂宏、島井幸治、岡崎邦雄、中村峻一、久米静彦  
 △消防△ 山岡八郎、立田辰巳、田所良知、福川藤茂、秋山市  
 太郎、宮地豊茂、池本豊子、故野村宏、横田品、浜田亀喜、池添吉喜、故松村茂久恵、故田中千鶴、大野亀喜、松浦正雄、故別府千代吉、井上一義、新田甲次郎、故川村正義、故

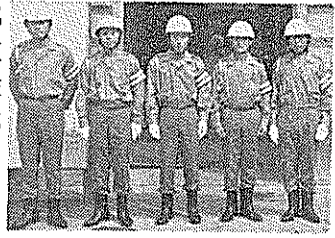
市の未来を生みだす 振興計画を

大きく飛躍 発展をさせよう

「ローマ帝国は一日にしてならず」私たちの祖先の数千年の積みが今日の南国市を築きあげたのです。市当局として、また、市民として、子孫のためさらに南国市を飛躍発展させる大きな義務と責任があるのです。ここに市において、今後の飛躍を期するため、南国市振興計画を策定することになりました。この振興計画は、南国市の将来のあるべき姿を描き、その目標に向って本市の立地条件と特性を生かした金すべての産業の振興を図ることによって、市民生活を豊かにするとともに、住民福祉の向上のための公共施設の整備拡充並びに施設を行なう計画を策定し、総合的、しかも計画的な行政運営を行なう指針とするものです。しかしこの計画が単なる「絵に

審議委員はつぎのとおりです。  
 ◇会長△ 入交好保、副会長△ 松本二郎、山下熊太郎  
 ◇産業部会(△は長、▽は副)  
 △田村英史、▽西村熊喜、松本二郎、吉村雅男、徳永安雄、武市信喜、島井武義、山下熊太郎、中田清重、戸堀長男、山本昇、吉川茂隆  
 ◇社会部会 △山本高一、▽西川誠男、平田良広、猪野重行、沢村武一、高島正臣、坂本市郎、沢田信喜、島本保隆  
 ◇両部会所属 西内四郎、大川昭

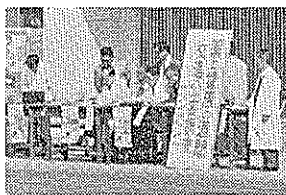
☆激増する交通災害を防止するため市は、このほど交通指導員5人と交通安全推進委員を委嘱し街頭での交通指導や整理を行なってもらうことになりました。



(写真は交通指導員の人たち)

☆さきの県民体育大会に南国市からも数種目参加し、かなりの好成績をあげました。なかでも青年男子のバレーボールは、初優勝をかざり、東京大会への出場権を獲得しました。

☆10月18日、後免東町の街頭において、香、長、土業剤士会(吉本明太郎会長)の人たちが、自動車などにより発生するそう音などの交通公害の測定調査が、朝8時から5時まで、2時間ごとに行なわれました。



この日の結果では風の通る屋外ということで、さほど影響のないことが判りました。

(写真 測定風景)



☆市が立田地区へ誘致しました。都築紡績高知工場の起工式が10月18日に行なわれました。

明年4月までに取りあえず工場棟と事務所、男、女子寮を建設し、来年10月から約3百人の工員で操業を始める予定。将来は7百人の従業員となる見込みで約28億円の総工費で建設されます。(写真は、鉄入れする山口鼎副社長)



☆奈路小学校に新しく校歌が生まれました。作詩は、同校の岡田清志校長で、後免野田小学校の真鍋伝一校長の作曲によるものです。

朝すみ渡る 南国の花  
 花吹きにおう、奈路の丘  
 みのり豊かな ゆりかごに  
 力の泉 わきいでて  
 はげむわれらよ 光りあり  
 歴史かがやく 学び舎(や)の  
 緑の窓に 幸をよぶ  
 明るくみんな 肩をよぶ  
 強く正しく どこまでも  
 進むわれらよ 誇りあり  
 りりの水ゆく 奈路川の  
 国見はるかに 雲のぼる  
 仰ぐ希望の まなざしに  
 ああ若草の 夢清く  
 ひらくわれらよ 使命あり

記念行事



写真は講演をする 湯川スミ夫人 (Photo of Mrs. Yumigawa Sumi giving a lecture)

市制十周年をむかえての記念行事は、六月二十二日の湯川博士夫妻の講演会を皮切りに十月一日の祝賀式典を中心として行なわれました。

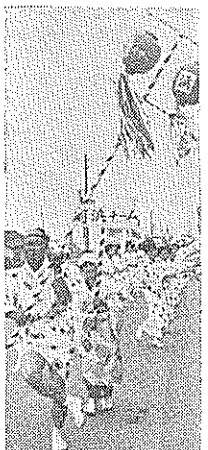
七百人の踊り子隊による「南国おどり大会」が、あいにくの雨をつぎ、市の中心街を練りあるきにぎやかな一夜を送りました。満十年目の一日は、式典にさきだち朝から午前十一時まで市内の小、中学生三百五十人による鼓笛隊が市パレードし、市制十年のいぶきを市民に湧きたせるなど、こんごの発展への第一歩を踏み出させました。また、式場前では、市の果樹研究会同志会により、果実の即売会がひらかれました。四日は、初の土曜市、午前九時金堂市長により開市のテープが切られ、待ちかねた人たちがどっと繰り込んで終日にぎわい、関係者をよろこばせました。日用雑貨、青果物、食品品植木



写真は、たのしかった空の旅 (Photo, a wonderful sky trip)

九月二十二日、全日空の市制十周年記念足摺岬観光飛行は、空港周辺の野村豊吉(90)さんらおとしより百八十人が塔上し空の観光をたのしみました。招待者の多くは、はじめて飛行機に乗る人たちが多く、「ぞんが乗心地がよい、たのしいよ思出となった。これでよい土へのよいみやげ話ができ」とよろこんでいました。

十月十一日から十九日まで市民体育館でひらかれました。ことしは県展とを同じくしたため、出品作品は例年のような伸びをみせず、横ばいのような状態でした。また、十一日から十六日まで中央公民館で、市の文化財展も開かれま



写真は、市街へくりだす踊り子隊 (Photo, dance troupe heading to the street)

話題・トビックス